

共通科目		DM_3005 国際感染症・危機管理学特論 Advanced Study & Research for International Infectious Diseases/Health Protection		開講	毎年・隔年
				区分	選択
単位	1 単位	科目責任者	鈴木和男 教授 (板橋・ADC)	授業形態	講義・演習
概要	パンデミックインフルエンザなど東南アジアをはじめとするグローバルな感染症の現状について、WHO、米国CDC、国立感染症研究所および当該研究室で独自に保有している資料を題材とし、グローバルな感染症制御の現状を理解する。アジアでの院内感染、健康障害の管理の重要性を、学際的研究や対策法研究から基礎的要素を修得する。必要に応じて、東南アジアの病院研修も実施する。また、大震災の発生での感染症やバイオテロリズムについて基礎的に理解することも危機管理の側面から必須である。危機管理の3カテゴリー(大規模自然災害、医療事故を含む事故、テロなど)の危機発生の健康事象に対して、要素分析からシミュレーションを含めた対策研究技術を併せて討論・修得する。				
到達目標	パンデミックインフルエンザなど東南アジアをはじめとするグローバルな感染症の現状について、WHO、米国CDC、国立感染症研究所および当該研究室で独自に保有している資料を題材とし、グローバルな医学的視点にたつて、広範な感染症の要因と対策について、アジアでの感染症の管理の重要性を、学際的研究や対策法研究から基礎的要素を修得する。一方、大震災の発生への対応や、テロリズムとして使用される微生物や化学物質について危機管理の側面から理解する。危機発生の健康事象に対して、要素分析からシミュレーションを含めた対策研究技術を併せて討論・修得することを目標とする。英語によるグループディスカッション能力を養う。				
事前事後学習	アジア各国の医療の現状を国際感染症および危機管理の点から知識を得ておく。 1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。				
評価方法	講義・演習の課題(60%)、現地調査を含む演習における報告発表(20%)、討議内容等(20%)を評価する。				
教科書・参考書	国立感染症研究所、WHOおよび米国CDCのホームページを日常的に確認しておく				
履修上の注意事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 国際感染症、危機管理学に限らず、院内または生活環境における感染症および診断、評価に関連する感染免疫や感染誘発血管炎などの臨床微生物学的内容が含まれる。</li> <li>2) 外部講師等による特別講義や公開講座に合わせて複数回の講義を合併して行うことがある。</li> <li>3) 必要により、他の共通科目等との共催として実施する場合がある。</li> <li>4) 日程、講義タイトル、会場等に変更が生じる場合は、1ヶ月前までにADC研ホームページに公開するので確認すること。 <a href="http://www.teikyo-u.ac.jp/affiliate/laboratory/adc_lab/event.html">http://www.teikyo-u.ac.jp/affiliate/laboratory/adc_lab/event.html</a></li> </ol> 試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。 この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。				
No.	月日	時間	講義タイトル	担当者	備考
1	5/12(火)	13:05-14:35	危機管理と防災	鈴木和男 教授 (ADC研究所)	場所は別途連絡
2	6/12(金)	14:00-16:00	防災:震災後のブラックアウト 成松教授(札幌医科大学救命救急) 高野甲子雄先生(元東京消防庁)	鈴木和男 教授 (ADC研究所)	
3	7/8(水)	別途連絡	国際シンポジウム「感染症危機管理」グループディスカッション(英語)	鈴木和男 教授 (ADC研究所)	
4	8月末	17:00～	Vienam Hanoiの国立病院での感染症の実習・研修から	鈴木和男 教授 (ADC研究所)	
5	10月下旬	13:00～	アジア国際感染症「バイオセーフティと感染防御」 ※1～2回出席のこと	鈴木和男 教授 (ADC研究所)	
6	10月下旬	別途連絡	国際シンポジウム「感染症危機管理」グループディスカッション(英語)	鈴木和男 教授 (ADC研究所)	
7	12月	午後	ベトナム国立病院および医科大学との相互連携の報告会	鈴木和男 教授 (ADC研究所)	
8	1月	16:00～	「感染症制御」の最新研究の情報 国立感染症研究所等の講師	鈴木和男 教授 (ADC研究所)	
演習・セミナー等	東南アジアの病院での感染症研修(希望者) アジア諸国からADC研や国際シンポジウムに来訪する外国人の医師・医療スタッフとの研究交流(希望者)				

※講義日程の変更・追加の連絡等がある場合、登録されているメールアドレスに連絡します。